



玉村町立中央小学校

6年道徳の授業実践を紹介します！

授業の見所

- ①二人の登場人物のうち、どちらの権利を大切だと思うか、ベン図をもとに自分の立場を整理する。
②道徳ノート（アナログ）とICT端末を融合して、意見交流をおこなう。

導入	展開	終末
✓	✓	

<本時のねらい>

登場人物が相手のために自分の行動を変えた理由を考えることで、身近な集団生活を送る上で、お互いの権利を尊重し義務を果たそうとする道徳的実践意欲と態度を育てる。

【導入】①どちらの権利を大切だと思うか、ベン図をもとに自分の立場を整理する。



本時の資料はマンションの騒音問題を取り上げたものです。静かに暮らしたいAさんと部屋でピアノを弾きたいBさん。権利と義務の在り方について児童に考えさせる内容となっています。

T : **皆さんは、どちらの権利が大事だと思いますか？**

C1 : ピアノはいつでも弾けるから、Aさんのいない時間に弾けばいいと思う。

【Aを支持】

C2 : 弾きたい時間は自分で選びたいから、Bさんの権利も大切。

【Bを支持】

C3 : どちらにも「権利」はあるから、どちらも大切。

【どちらも大切】

T : 確かにどちらも大切な権利ですね。今日は、**権利の主張の仕方**や**その際にどんなことを大切にしたらよいか**考えていきましょう。

- 思考ツールのベン図をもとに児童一人一人の立場を整理しました。
- それぞれの立場を支持する児童の意見を取り上げることで、本時のめあてにつなげていきました。

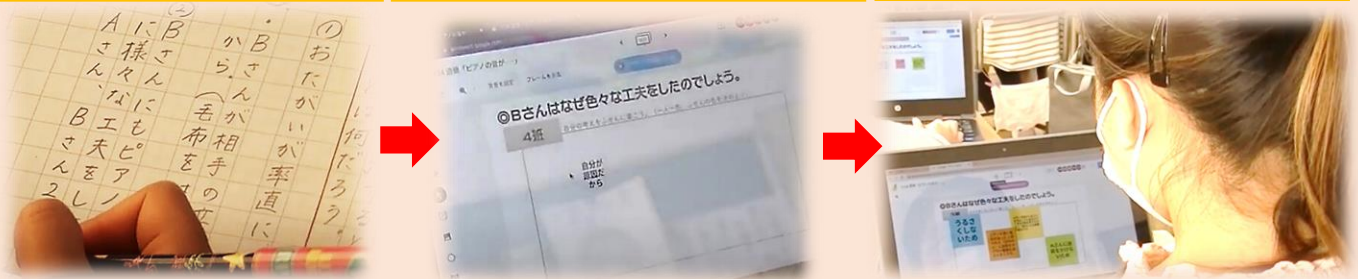


【展開】②道徳ノート（アナログ）とICT端末を融合して、意見交流をする。

ノート：アナログ（個）

Google Jamboard：ICT端末（個）

Google Jamboard：ICT端末（班）



- 個でしっかり考えをもてるよう道徳ノートに記入します。その後、Google Jamboardに記入した自分の考えを班で共有します。班員の意見を参考にしつつ、全体で交流しました。

【考えを深める
コツ】

Google Jamboardで班員の意見を読む、**全体交流**で友達の意見を聞く、この**二点からの揺さぶり**で自分の考えをより深められます。

T : Bさんにもピアノを弾く権利があるのに様々な工夫をしたのはなぜかな？

C4 : 自分のピアノの音でAさんが嫌な気持ちになったから。

T : **じゃあ、Bさんさえ我慢すれば解決するよね。（揺さぶり）**

C5 : 時間をずらせば、Bさんもピアノを弾けると思う。権利はあるんだから。

T : **〇〇君もBさんを支持してるね。どう思う？考えを聞かせて。（意図的指名）**

全体

